

軽量×薄型 Bluetooth®ミニキーボード TK-FBP102シリーズ ユーザーズマニュアル

このたびは、エレコム Bluetooth®ミニキーボード“TK-FBP102”シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

このマニュアルでは“TK-FBP102”シリーズの操作方法と安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずお読みください。

このマニュアルでは、一部の表記を除いて“TK-FBP102”シリーズを「本製品」と表記しています。

もくじ

はじめに	2
安全にお使いいただくために	2
ワイヤレス（無線）についての注意事項	3
パッケージ内容の確認	3
各部の名称とはたらき	4
キーボードの使用方法	6
製品を使用するまでの流れ	6
Step 1 電池を入れる	6
Step 2 電源をONにする	7
Step 3 接続機器とペアリングする	8
ペアリングの詳細手順	9
Windows®の場合	9
Windows® 10の場合	9
Windows® 7の場合	13
Windows® XPの場合	15
iOS/iPadOSの場合	18
Androidの場合	20
ELECOM Keyboard layoutをインストールする	22
Macintoshの場合	24
トラブルシューティング	28
困ったときは	28
正常に動作しないとき	28
キーボードの一部が正しく入力されない	29
基本仕様	30
ユーザーサポートについて	31
保証について	31

はじめに

安全にお使いいただくために

■ 絵表示の意味

 警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡やけがなど人身事故の原因になります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

 「してはいけないこと」を示します。

 「しなければならないこと」を示します。

 「注意していただきたいこと」を記載しています。

 「お願いしたいこと」や「参考にしていただきたいこと」を記載しています。

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

警告

-  本製品に水や金属片などの異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、キーボードから電池を取り出してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
-  本製品が発熱している、煙がでている、異臭がしているなどの異常があるときは、すぐに使用を中止し、パソコンをシャットダウンさせ、やけどに注意した上で、発熱がおさまっていることを十分確認した後で、キーボードから電池を取り出してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
-  本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。
万一、本製品が破損した場合は、すぐに使用を中止し、キーボードから電池を取り出してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。破損したまま使用すると、火災や感電の原因になります。
-  本製品の分解や改造、修理などをしないでください。火災や感電、故障の原因になります。
故障時の保証の対象外となります。
-  本製品を火中に投入しないでください。
破裂により火災やけがの原因になります。

注意

-  本製品を次のようなところには置かないでください。
 - ・日のあたる自動車内、直射日光のあたるところ
 - ・暖房器具の周辺など高温になるところ
 - ・多湿なところ、結露をおこすところ
 - ・平坦でないところ、振動が発生するところ
 - ・マグネットの近くなどの磁場が発生するところ
 - ・ほこりの多いところ
-  本製品は防水構造ではありません。水などの液体がかからないところで使用または保存してください。
雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

-  本製品の誤動作によって、重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。
- 本製品を廃棄するときは、お住まいの地域の条例および法令に従って処分してください。

■電池について

⚠ 注意

- ❗ 本製品には単4形アルカリ乾電池、単4形マンガン乾電池、または単4形ニッケル水素2次電池を使用してください。
- ❌ 本製品を長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液漏れや故障の原因になります。

■お手入れのしかた

本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。

- ❗ シンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると、変質や変色を起こす恐れがあります。

ワイヤレス(無線)についての注意事項

本製品は2.4GHz帯全域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。電波方式にはGFSK方式を採用し、与干渉距離は10mです。

2.4GHz帯は、医療機器やBluetooth®、IEEE802.11b/11g/11n規格の無線LAN機器などでも使用されています。

- ・本製品を使用する前に、近くで「他の無線局*」が運用されていないか確認してください。
- ・万一、本製品と「他の無線局*」との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、または本製品の使用を停止してください。

※「他の無線局」とは、本製品と同じ2.4GHz帯を使用する産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。

⚠ 警告

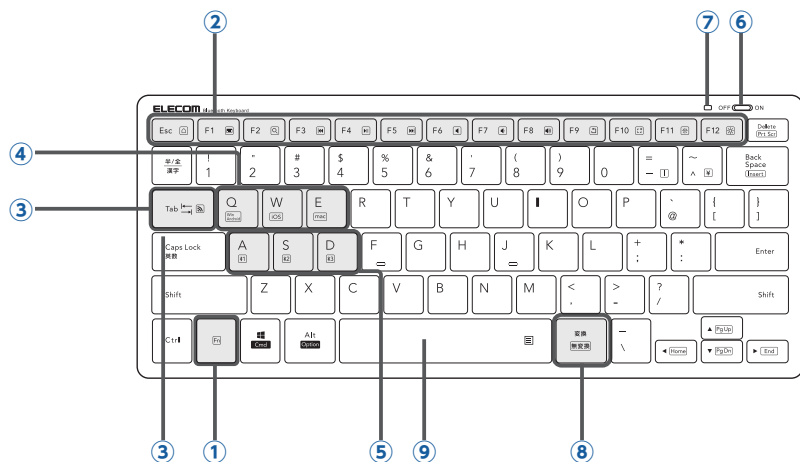
- ❌ 重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。まれに外部から同じ周波数の電波や携帯電話の電波の影響を受け、誤動作する、動作が低下する、または動作しなくなることがあります。
 - ・病院など、電波使用が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。本製品の電波で電子機器や医療機器(例えばペースメーカー)などに影響を及ぼす恐れがあります。
 - ・航空機の安全運航に支障をきたすおそれがあるため、無線式キーボードを航空機内で使用することは、航空法で禁止されています。ご搭乗前にキーボード本体の電池を取り出し、ご搭乗後は常にご使用にならないようお願いいたします。
- ※本製品の故障等により事故や社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

- ・キーボード本体..... 1台
- ・動作確認用単4形アルカリ乾電池 2本

各部の名称とはたらき



① Fn キー

② ファンクションキー

F_nキーを押しながら、アイコンが記載されているキーを押すことで、システム全体のボリュームを調整したり、メディアプレーヤーなどの操作や画面の明るさを調整することができます。

🏠 ホーム

Webブラウザのホーム画面を表示します。

🖥️ ソフトウェアキーボード

ソフトウェアキーボードの表示/非表示を切り替えます。

🔍 検索

検索チャーム・検索ウインドウ・「検索」画面を起動します。

⏮️ 前のトラックへ

音楽などを再生中、前の曲へ移動します。*

⏸️ 再生/一時停止

音楽などのメディアを再生します。再生中に押すと一時停止します。*

⏭️ 次のトラックへ

音楽などを再生中、次の曲へ移動します。*

※メディアプレーヤーなどがアクティブな時

🔇 ミュート

システム全体の音声出力を止めます。
もう一度押すと、ミュートを解除します。

🔊 ボリューム -

システム全体のボリュームを下げます。

🔊 ボリューム +

システム全体のボリュームを上げます。

🔄 戻る

戻るボタンと同様の動きをします。

📸 スクリーンショット

スクリーンショットを取得します。

🌑 画面を暗くする

画面の表示を暗くします。

🌞 画面を明るくする

画面の表示を明るくします。

ご使用の環境により動作しない場合や異なる動作をする場合があります。

③ キー (ペアリングキー)

 キーを押しながら、 キーを約3秒間押すと、ペアリングモードに入ります。

④ 動作モード切替

 キーを押しながら該当するキーを押すと、本製品の動作モードを切り替えます。

接続機器の種類により、動作モードを切り替えてご使用ください。

モードを切り替えると、LEDランプが緑色に点滅します。

*切り替え前と同じ動作モードを選択した場合、LEDランプは点滅しません。

 +  : 「Windows®+Android」モード LEDランプ 1回点滅

 +  : 「iOS」モード LEDランプ 2回点滅

 +  : 「Macintosh」モード LEDランプ 3回点滅

  で白抜き印字があるキーは、「Macintosh」モードのときに単独で動作する機能です。

⑤ 接続先選択

 キーを押しながら 、、 のいずれかのキーを押すと、該当するキーに登録したBluetooth® 機器が選択されます。

接続先を切り替えると、LEDランプが緑色で1回点滅します。

選択した Bluetooth® 機器で本製品を使用できます。

*切り替え前と同じ接続先を選択した場合、LEDランプは点滅しません。

 **接続した機器のOSに合わせて動作モードを切り替えてご使用ください。**

OSによってキーボード配列が異なるため、接続した機器のOSと動作モードが異なる場合、キーボードの印字通りキー入力ができない場合があります。

⑥ 電源スイッチ

キーボードの電源を入(ON)/切(OFF)します。

⑦ LEDランプ

●電源をONにすると、ランプが緑色で1秒間点灯します。

●ペアリングモードのとき、ランプが緑色に点滅します。

●電池交換時期をお知らせします。使用中に電池残量が少なくなると、5分間点滅を続けます。

●動作モードを切り替えると、モードに応じてランプが緑色に点滅します。

*切り替え前と同じ動作モードを選択した場合、LEDランプは点滅しません。

「Windows®+Android」モード 1回点滅

「iOS」モード 2回点滅

「Macintosh」モード 3回点滅

●接続先を切り替えると、ランプが緑色で1回点滅します。

*切り替え前と同じ接続先を選択した場合、LEDランプは点滅しません。

⑧ 変換/無変換キー

「Macintosh」モード/「iOS」モードのときに押すと日本語入力になり、

 キーを押しながら 押すと英語入力になります。

⑨ スペースバー

●空白を入力します。

●未確定文字を変換します。

キーボードの使用方法

製品を使用するまでの流れ

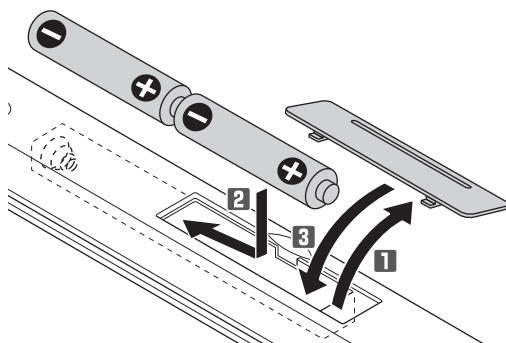
本製品をはじめて使用するときは、次の順序で本製品と端末を操作・設定します。

- 1 電池を入れる
- 2 電源をONにする
- 3 接続機器とペアリングする

Step

1

電池を入れる



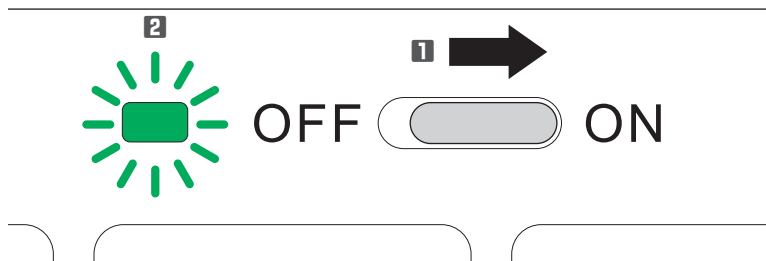
1 電池カバーを取り外します。

2 電池を入れます。



- 種類の違う電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。電池が液漏れを起こし、故障の原因となります。
- 電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを正しく入れてください。

3 電池カバーを元通りに取り付けます。



1 電源スイッチをON側にします。

2 LEDランプが緑色で1秒間点灯します。



省電力モードについて

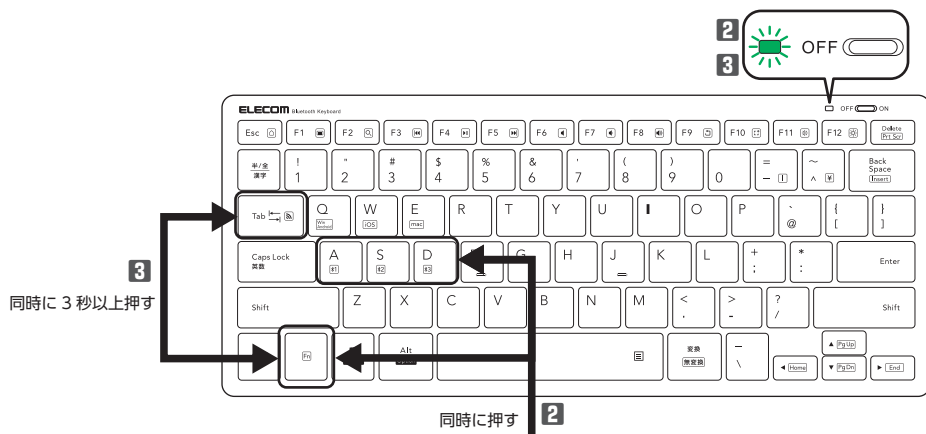
本製品は約30分キー入力を行わないと、自動的に省電力モードに切り替わります。
いずれかのキーを入力すると、通常モードに復帰します。
その後文字を入力してください。

Step 3

接続機器とペアリングする



ペアリングとは、Bluetooth®機器同士(ここでは本製品と接続機器)をお互いに登録し、登録された機器との接続を許可する操作のことです。



- 1 接続機器を起動します。**
接続機器を起動し、操作可能な状態になるまでお待ちください。
- 2 **[Fn]**キーを押しながら、**[F1]**、**[F2]**、**[F3]**のいずれかのキーを押して、接続先を選択します。**
LEDランプが緑色に1回点滅します。
* 切り替え前と同じ接続先を選択した場合、LEDランプは点滅しません。
- 3 **[Fn]**キーを押しながら、**[Tab]**キーを約3秒間押します。**
ペアリングモードになりLEDランプがゆっくりと緑色に点滅します。
- 4 接続機器からキーボードを検索します。**
- 5 接続機器にキーボードを登録します。**
「ELECOM TK-FBP102」が検索画面上に表示されますので、選択して登録します。
LEDランプが消灯すると、ペアリング完了です。

接続機器でのペアリング手順について詳しくは、「ペアリングの詳細手順」をお読みください。

- 👉 **Windows®の場合**
 - 👉 Windows® 10の場合
 - 👉 Windows® 7の場合
 - 👉 Windows® XPの場合
- 👉 **iOS/iPadOSの場合**
- 👉 **Androidの場合**
- 👉 **Macintoshの場合**

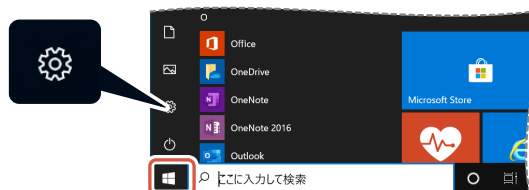
ペアリングの詳細手順

Windows® の場合

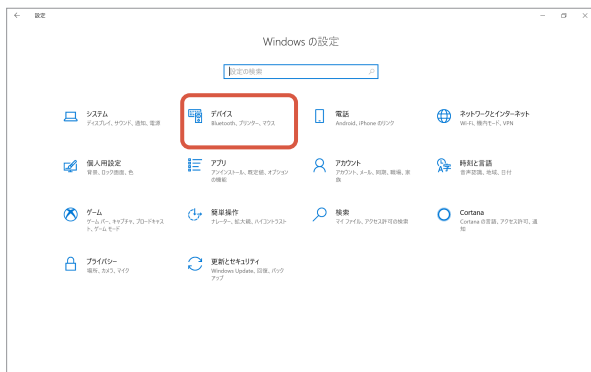
※ここでは、Windows® 標準のBluetooth® 機能を使用する場合について説明します。お使いの端末によっては、独自のBluetooth® 機能を使用する場合があります。その場合はそれぞれの取扱説明書をお読みください。

Windows® 10の場合

- 1 画面左下の「スタート」■ ボタンをクリックし、「設定」⚙️アイコンをクリックします。



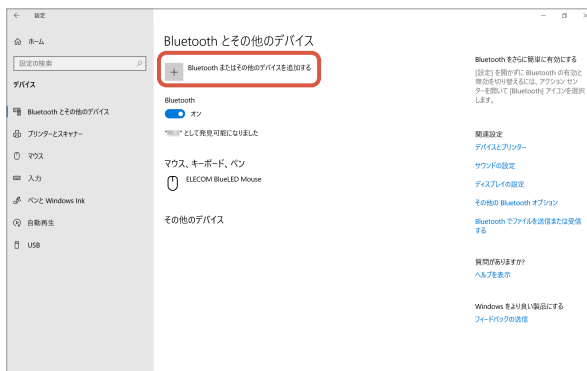
- 2 「デバイス」をクリックします。
「デバイス」画面が表示されます。



- 3 「Bluetooth とその他のデバイス」をクリックします。
「Bluetooth」がオフの場合はオンにします。



4 「+ Bluetoothまたはその他のデバイスを追加する」をクリックします。



5 Fnキーを押しながら、F1キーを押します。

LEDランプが緑色に1回点滅し、接続先がF1に確定されます。

* 既にF1が選択されていた場合、LEDランプは点滅しません。



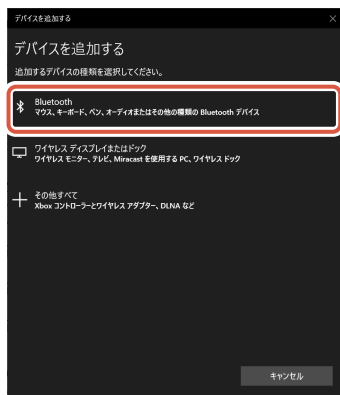
複数のBluetooth®機器で本製品を使用する場合は、F1キーの代わりにF2またはF3キーを押します。

ここで押したキーに現在ペアリング中のBluetooth®機器が登録されます。

6 Fnキーを押しながら、F3キーを約3秒間押します。

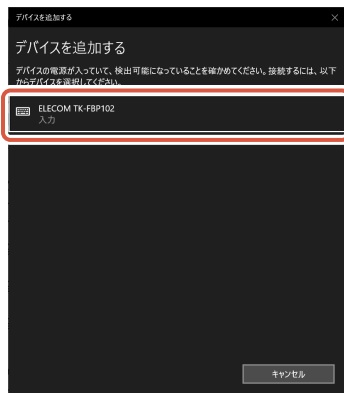
ペアリングモードになり、LEDランプがゆっくりと緑色に点滅します。ペアリングが完了(手順10まで完了)するとLEDランプが消灯します。

7 「Bluetooth」をクリックします。

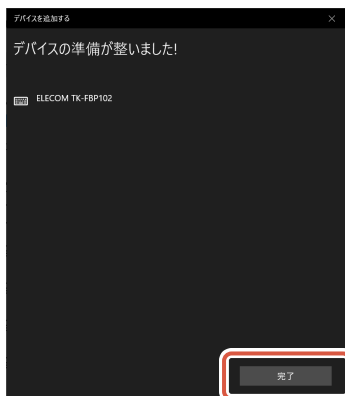


8 「ELECOM TK-FBP102」をクリックします。

ペアリングを開始します。

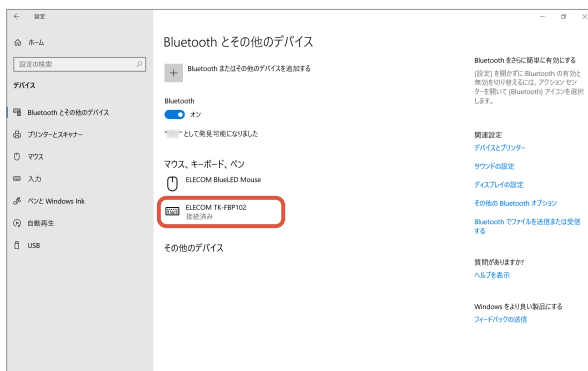


9 「デバイスの準備が整いました!」に変わったら、完了をクリックします。



10 LEDランプが消灯したら、ペアリングは完了です。

「マウス、キーボード、ペン」に「ELECOM TK-FBP102」が追加され、「接続済み」と表示されたら正しくペアリングできました。



11  キーを押しながら、 キーを押して、「Windows®+Android」モードに切り替えます。

LEDランプが緑色で1回点滅します。

*既に「Windows®+Android」モードになっている場合、LEDランプは点滅しません。

これでキーボードを利用できます。

Windows® 7の場合

- 1 通知領域にあるをクリックしてBluetooth®アイコン()を右クリックし、「デバイスの追加」をクリックします。
デバイスの追加画面が表示されます。



- 通知領域にが表示されている場合は、を右クリックし、「デバイスの追加」をクリックします。
- アイコンが表示されていない場合は、[スタート] ボタンをクリックし、「コントロール パネル」→「デバイスの追加」の順にクリックします。

- 2 **Fn**キーを押しながら、**F1**キーを押します。

LEDランプが緑色に1回点滅し、接続先が**F1**に確定されます。

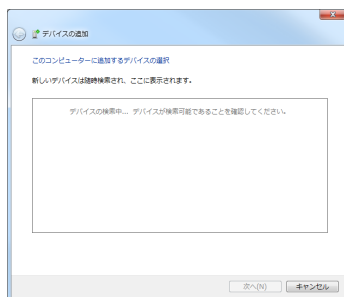
* 既に**F1**が選択されていた場合、LEDランプは点滅しません。



複数のBluetooth®機器で本製品を使用する場合は、**F1**キーの代わりに**F2**または**F3**キーを押します。
ここで押したキーに現在ペアリング中のBluetooth®機器が登録されます。

- 3 **Fn**キーを押しながら、**Fn**キーを約3秒間押します。

ペアリングモードになり、LEDランプがゆっくりと緑色に点滅します。ペアリングが完了(手順6まで完了)するとLEDランプが消灯します。



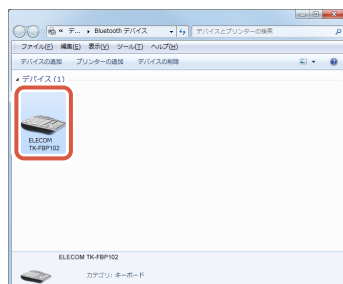
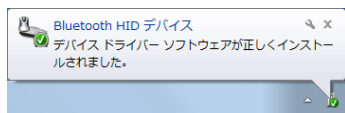
- 4** [ELECOM TK-FBP102]をクリックし、**次へ(N)**をクリックします。
本製品の登録を開始します。



- 5** **開じる(C)**をクリックします。



- 6** LEDランプがすばやく点滅後、消灯し、ペアリングが終了します。
[Bluetoothデバイス]画面に[ELECOM TK-FBP102]が追加されます。



- 7** **Fn**キーを押しながら、**Win Android**キーを押して、「Windows®+Android」モードに切り替えます。

LEDランプが緑色で1回点滅します。

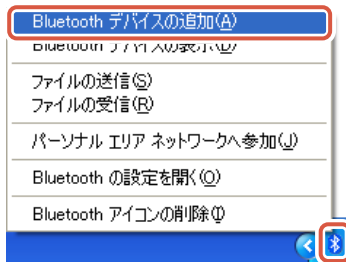
*既に「Windows®+Android」モードになっている場合、LEDランプは点滅しません。

これでキーボードを利用できます。

Windows® XPの場合

- 1 タスクトレイまたは通知領域にあるBluetooth®アイコン(Bluetooth)を右クリックし、「Bluetoothデバイスの追加」をクリックします。

Bluetoothデバイスの追加ウィザードが表示されます。



アイコンが表示されていない場合は、[スタート] ボタンをクリックし、「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド(プリンタとその他のハードウェア)」→「Bluetoothデバイス」の順にクリックします。
表示された「Bluetoothデバイス」画面で「追加」をクリックします。

- 2 [Fn]キーを押しながら、[*1]キーを押します。

LEDランプが緑色に1回点滅し、接続先が[*1]に確定されます。

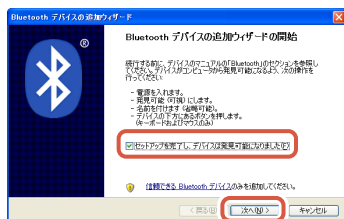
* 既に[*1]が選択されていた場合、LEDランプは点滅しません。

複数のBluetooth®機器で本製品を使用する場合は、[*1]キーの代わりに[*2]または[*3]キーを押します。

ここで押したキーに現在ペアリング中のBluetooth®機器が登録されます。

- 3 「セットアップを完了し、デバイスは発見可能になりました」をチェックし、「次へ(N) >」をクリックします。

追加するBluetooth®デバイスの検索が開始されます。

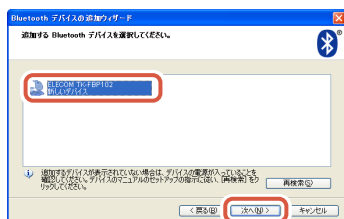


- 4** 懐中電灯アイコンが表示されてる間に、**[Fn]**キーを押しながら、**[S]**キーを約3秒間押します。
ペアリングモードになり、LEDランプがゆっくりと緑色に点滅します。ペアリングが完了(手順**8**まで完了)するとLEDランプが消灯します。

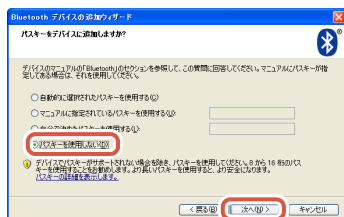


本製品が一覧に表示されない場合は、本製品の電源が入っていることを確認し、ペアリングボタンを押したあと **再検索(S)** をクリックします。

- 5** **[ELECOM TK-FBP102]**をクリックし、**次へ(N) >** をクリックします。



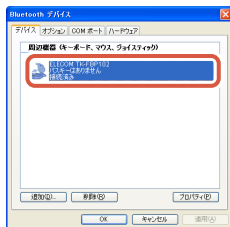
- 6** **「パスキーを使用しない」**を選択し、**次へ(N) >** をクリックします。
本製品の登録を開始します。



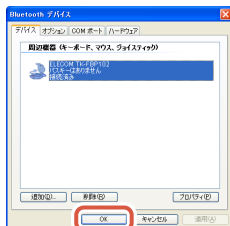
- 7** **完了** をクリックします。



- 8** LEDランプがすばやく点滅後、消灯し、ペアリングが終了します。
「Bluetoothデバイス」画面に「ELECOM TK-FBP102」が追加されます。



- 9** **OK** をクリックします。



- 10** **Fn**キーを押しながら、**Win Android**キーを押して、「Windows®+Android」モードに切り替えます。

LEDランプが緑色で1回点滅します。

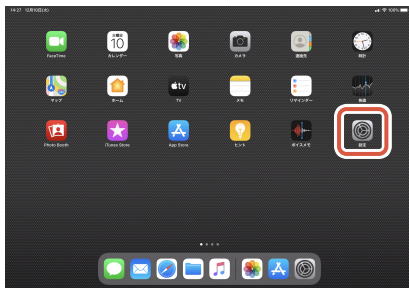
*既に「Windows®+Android」モードになっている場合、LEDランプは点滅しません。

これでキーボードを利用できます。

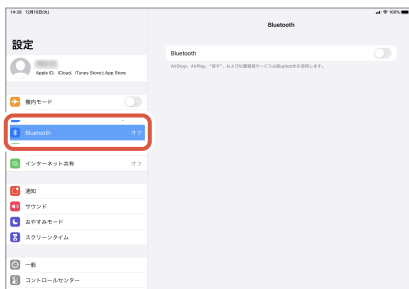
iOS/iPadOSの場合

※以下はiPad Pro (iPad OS 13.2)の画面で説明しています。

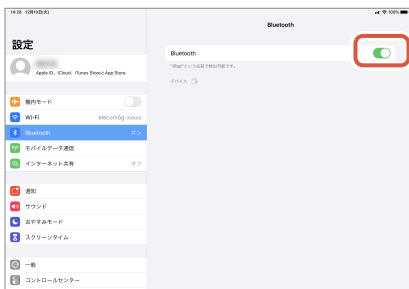
1 「設定」をタップします。



2 「Bluetooth」をタップします。



3 「Bluetooth」がオフの場合はオンにします。



4 **⌘**キーを押しながら、**⌘H**キーを押します。

LEDランプが緑色に1回点滅し、接続先が**⌘H**に確定されます。

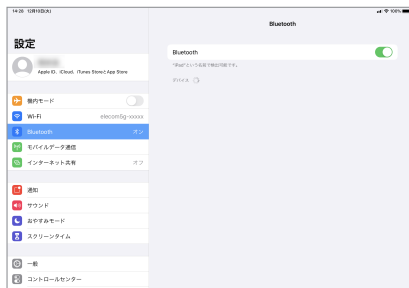
* 既に**⌘H**が選択されていた場合、LEDランプは点滅しません。



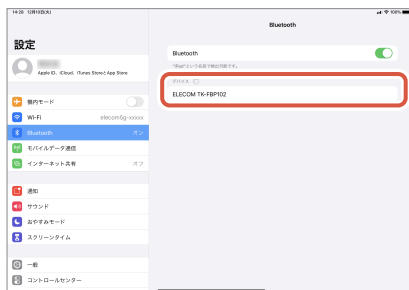
複数のBluetooth®機器で本製品を使用する場合は、**⌘H**キーの代わりに**⌘2**または**⌘3**キーを押します。

ここで押したキーに現在ペアリング中のBluetooth®機器が登録されます。

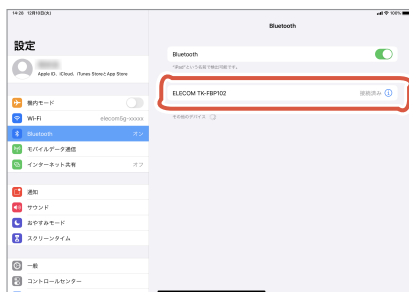
- 5** **[Fn]**キーを押しながら、**[Fn]**キーを約3秒間押します。
ペアリングモードになり、LEDランプがゆっくりと緑色に点滅します。ペアリングが完了(手順**7**まで完了)するとLEDランプが消灯します。



- 6** **[ELECOM TK-FBP102]**をタップします。



- 7** LEDランプが消灯したら、ペアリングは完了です。
[ELECOM TK-FBP102]が「接続済み」となったら正しくペアリングできました。



- 8** **[Fn]**キーを押しながら、**[iOS]**キーを押して、「iOS」モードに切り替えます。
LEDランプが緑色で2回点滅します。

* 既に「iOS」モードになっている場合、LEDランプは点滅しません。

これでキーボードを利用できます。

Androidの場合

※以下はHUAWEI MediaPad M5 (Android 9.0) の画面で説明しています。OSのバージョンや端末の種類によって異なる場合があります。

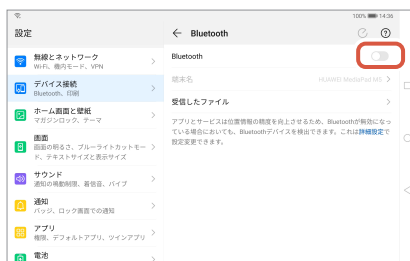
- 1 「設定」をタップします。
- 2 「デバイス接続」をタップします。



- 3 「Bluetooth」をタップします。



- 4 「Bluetooth」が使用可能になっていることを確認します。
使用可能になっていない場合は、タップして使用可能な状態にします。



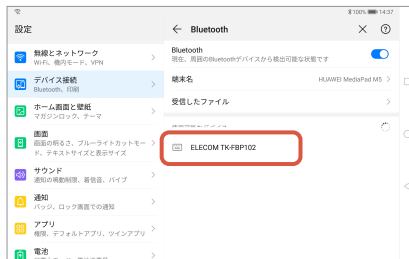
- 5 **[Fn]**キーを押しながら、**[F1]**キーを押します。
LEDランプが緑色に1回点滅し、接続先が**[F1]**に確定されます。
※ 既に**[F1]**が選択されていた場合、LEDランプは点滅しません。



複数のBluetooth®機器で本製品を使用する場合は、**[F1]**キーの代わりに**[F2]**または**[F3]**キーを押します。

ここで押したキーに現在ペアリング中のBluetooth®機器が登録されます。

- 6** **[Fn]**キーを押しながら、**[Fn]**キーを約3秒間押します。
ペアリングモードになり、LEDランプがゆっくりと緑色に点滅します。ペアリングが完了(手順**8**まで完了)するとLEDランプが消灯します。
- 7** 使用可能なデバイスの「ELECOM TK-FBP102」をタップします。
ペアリングを開始します。



- 8** LEDランプが消灯したら、ペアリングは完了です。
「ELECOM TK-FBP102」に「接続」が表示されたら正しくペアリングできました。



- 9** **[Fn]**キーを押しながら、**[Win/Android]**キーを押して、「Windows®+Android」モードに切り替えます。
LEDランプが緑色で1回点滅します。
*既に「Windows®+Android」モードになっている場合、LEDランプは点滅しません。

これでキーボードを利用できます。

Androidで使用する場合は、「ELECOM Keyboard layout」のインストールが必要です。
次の「ELECOM Keyboard layoutをインストールする」に進んでください。

ELECOM Keyboard layoutをインストールする



ELECOM Keyboard layoutでは“ローマ字入力”のみ対応しています。“かな入力”はできません。

■ELECOM Keyboard layoutのダウンロードとインストール

- 1 右のQRコードを読み込んで、Playストアから、ELECOM Keyboard layoutをダウンロードして、インストールします。



ダウンロードとインストールについて詳しくは、弊社Webサイトを
ご覧ください。

<http://app.elecom.co.jp/keyboardlayout/android/index.html>



■Androidでキーボードを設定する

※以下はHUAWEI MediaPad M5 (Android 9.0) の画面で説明しています。OSのバージョンや端末の種類によって異なる場合があります。

- 1 「設定」をタップします。
- 2 「システム」の「言語と文字入力」をタップします。



- 3 「その他の入力方法の設定」をタップします。



- 4 「物理キーボード」をタップします。



- 5** 使用する文字入力方法(ここでは「Gboard」)をタップして、選択します。
(物理キーボードが複数ある場合は、「ELECOM TK-FBP102」の下から選択します。)



- 6** キーボードレイアウトのリストから「日本語エレコムキーボード」をタップして、選択します。



複数のキーボードレイアウトが表示されるときは「日本語エレコムキーボード」をタップしてください。

- 7** 物理キーボードに「日本語エレコムキーボード」が設定されます。



選択した「日本語エレコムキーボード」が表示されていることを確認します。

これで正しく日本語が入力できるようになりました。

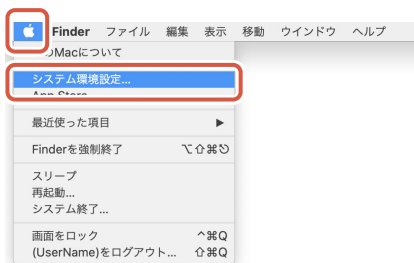


一度設定を行うと、次回からの設定は不要です。

Macintoshの場合

※以下はmacOS Catalina (10.15) の画面で説明しています。

- 1 Appleメニューから「システム環境設定...」をクリックします。
システム環境設定画面が表示されます。



- 2 「Bluetooth」をクリックします。
“Bluetooth” 環境設定画面が表示されます。



- 3 **Fn**キーを押しながら、**F12**キーを押します。
LEDランプが緑色に1回点滅し、接続先が**F12**に確定されます。
* 既に**F12**が選択されていた場合、LEDランプは点滅しません。



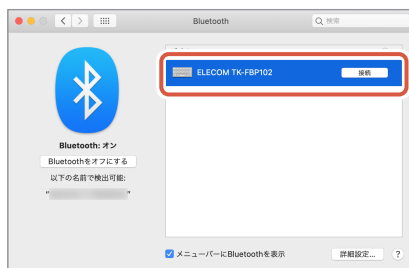
複数のBluetooth®機器で本製品を使用する場合は、**F12**キーの代わりに**F13**または**F14**キーを押します。

ここで押したキーに現在ペアリング中のBluetooth®機器が登録されます。

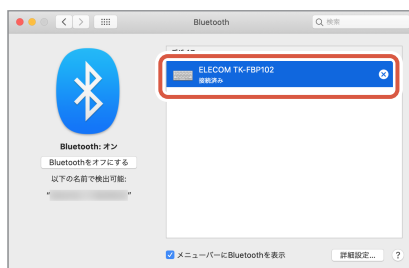
- 4 **Fn**キーを押しながら、**Shift**キーを約3秒間押します。
ペアリングモードになり、LEDランプがゆっくりと緑色に点滅します。ペアリングが完了(手順6まで完了)するとLEDランプが消灯します。



5 「ELECOM TK-FBP102」を選択して **接続** をクリックします。

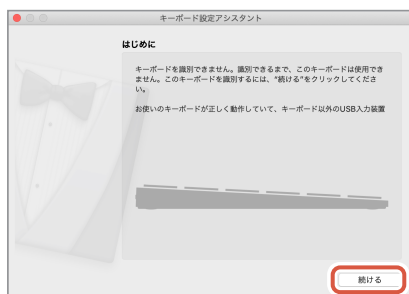


6 LEDランプが消灯したら、ペアリングは完了です。
画面に「接続されました」と表示され、「ELECOM TK-FBP102」が「接続済み」となったらペアリングは正しくできました。

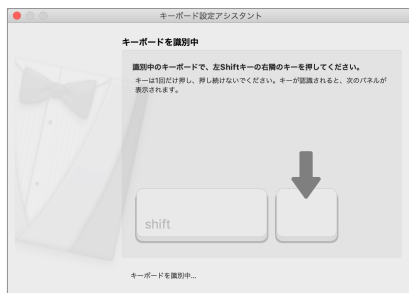
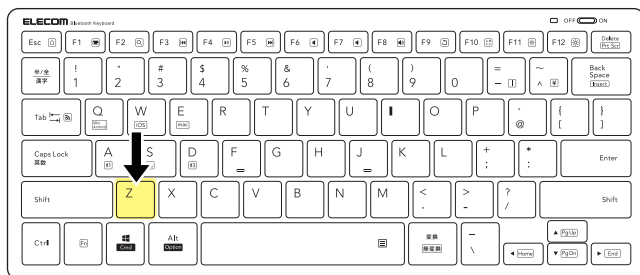


■ キーボード設定アシスタントが表示された場合

7 キーボード設定アシスタントが起動したら、 **続ける** をクリックします。

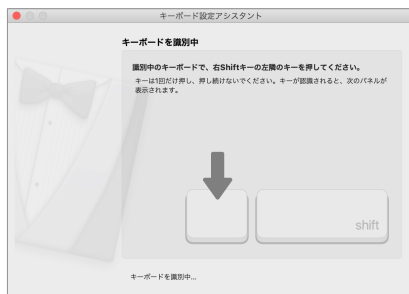
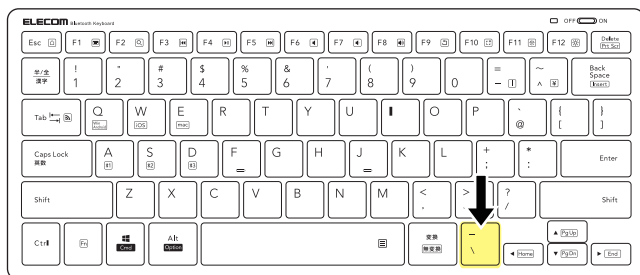


8 左Shiftキーの右隣の「Z」キーを押します。

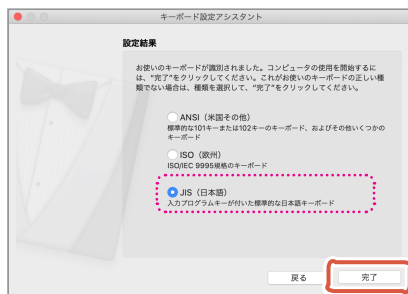


9 「\」キーを押します。

* 右Shiftキーの左隣の「?」キーではありませんので、間違えないようにご注意ください。



10 「JIS(日本語)」を選択して **完了** をクリックします。



キーボードは正しく日本語キーボードとして認識されました。

11 **Fn**キーを押しながら、**mac**キーを押して、「Macintosh」モードに切り替えます。
LEDランプが緑色で3回点滅します。

*既に「Macintosh」モードになっている場合、LEDランプは点滅しません。

これでキーボードを利用できます。

トラブルシューティング

困ったときは

設定や操作などで困ったときは、下記URLまたは右のQRコードのURLへアクセスしてください。

弊社サポートポータルから、お役に立つ情報をご覧ください。

<https://www.elecom.co.jp/rd/elesup/016.html>



正常に動作しないとき

■キー入力ができない、キーボードが動作しない/動作が不安定

- ➡ 本製品や端末の電源をオフにしたことで、本製品と端末との接続が切れている場合があります。何かキーを押すと、本製品と端末が再接続します。
- ➡ 本製品は約30分間キー入力を行わないか、端末がスリープ状態になると、自動的に省電力モードに切り替わります。何かキーを押して、通常モードに復帰させてから文字入力をしてください。
- ➡ 本製品の電源、端末のBluetooth®機能がONになっていることを確認してください。
- ➡ 本製品と端末が正しくペアリングされているか、ペアリングが切れていないかなど、ペアリングの状況を確認してください。



- ・ペアリング中はLEDランプが緑色に点滅し、ペアリングが完了すると消灯します。
- ・端末のBluetooth®機能については、端末の取扱説明書をお読みください。または、製造メーカーにお問い合わせください。

- ➡ 端末とキーボード本体の距離が離れすぎているか、端末が電波を受信できない方向を向いている可能性があります。

端末の位置を調整するなどしてください。

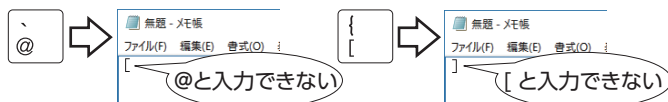
本製品の動作範囲は、端末とキーボード本体が半径10m以内です。使用環境によっては、約10mの範囲内でもキーボードが正常に動作しない場合があります。その場合は、動作が安定するところまで、キーボードを端末に近づけてください。

- ➡ スチール製の机などの金属面では電波の到達距離が短くなる場合があります。この場合、キーボードの動作が安定するところまでキーボードを端末に近づけてください。
 - ➡ 本製品を複数で使用したり、他のワイヤレス機器と同時に使用すると、電波が干渉する可能性があります。他のワイヤレス機器のチャンネルを変更してください。
 - ➡ 電池の残量が少なくなると動作が不安定になります。「[Step1 電池を入れる](#)」を参照し、早めに新しい電池に交換してください。
 - ・本製品に付属のアルカリ乾電池は動作確認用です。製品の流通過程で乾電池が自然放電し消耗していることがあります。
 - ・電池の残量が少なくなると、LEDランプが緑色で点滅します。
- ※キーボードを使用しないときは電源をOFFにしておくと、電池を節約できます。

キーボードの一部が正しく入力されない

→Windows®でキーボードが101英語キーボードとして誤認識されている可能性があります。
これはお使いのキーボードをWindows®自体が英語キーボードと間違っ認識するために起こる問題です。そのため、キートップに印字されている文字を入力しても実際の画面には異なる文字が表示されます。

●誤認識された場合の入力例



101英語キーボードへの誤認識の問題を解決する方法として対策ユーティリティである「USBキーボード 101⇒106変更ユーティリティ」を弊社のホームページに用意しておりますので次の手順でご利用ください。

1 弊社ホームページよりユーティリティをダウンロードします。

ダウンロード先

<https://www.elecom.co.jp/download/driver/>

- ・「型番から探す」、または「型番カテゴリから探す」より、本製品の型番をお選びください。
- ・ご使用のOSに対応した「USB キーボード101->106 変更ユーティリティ」をダウンロードしてください。

※ ホームページの内容変更によりユーティリティの場所が変更される場合があります。

2 ダウンロードしたファイルをダブルクリックして任意の場所に解凍します。

3 インストール・使用方法については、ユーティリティに添付されている「readme.txt」の内容をご覧ください。

→接続した機器のOSと同じ動作モードに設定されているか確認してください。

- ・OSによってキーボード配列が異なるため、接続した機器のOSと動作モードが異なる場合、キーボードの印字通りキー入力ができない場合があります。
- ・「各部の名称とはたらき」の④動作モード切替、⑤接続先選択をご参照ください。

基本仕様

製品名	Bluetooth®ミニキーボード
製品型番	TK-FBP102シリーズ
対応機種	Bluetooth® HIDプロファイルに対応したWindows OS、Android OS、macOS、iOS/iPad OS 搭載機
対応OS	Windows® 10/8.1/7/XP、macOS Catalina(10.15) Android 9.0、iOS 13.2/iPad OS 13.2 ※各OSの最新バージョンへのアップデートや、サービスパックのインストールが必要になる場合があります。 ※パッケージに表記されていない最新情報はホームページの対応表をご確認ください。 ※互換性情報は弊社検証環境における動作確認時点のものです。全ての機器、OSバージョン、アプリケーション等との完全な互換性を保証するものではありません。
接続方式	Bluetooth® 無線方式
適合規格	Bluetooth®3.0 Class2
プロファイル	HID (Human Interface Device)
電波周波数	2.4GHz帯
電波方式	GFSK方式
電波到達距離	非磁性体(木の机など):約10m 磁性体(鉄の机など):約3m ※当社環境でのテスト値であり保証値ではありません。
登録可能台数	3台
キー数	78キー(日本語配列) ※iOS/iPad OSのかな入力には対応していません。
キータイプ	パンタグラフ
キーピッチ	19.0 mm
キーストローク	2.0 mm
外形寸法	W286.5×D121.5×H20.4 mm
質量	約264 g (電池含まず)
動作温度/湿度	5℃～40℃/～90%RH(ただし結露なきこと)
保存温度/湿度	-10℃～60℃/～90%RH(ただし結露なきこと)
対応電池	単4形アルカリ乾電池、単4形マンガン乾電池、単4形ニッケル水素2次電池のいずれか2本
動作時間	アルカリ乾電池使用時の目安 約1.1年 ※当社環境でのテスト値であり保証値ではありません。

ユーザーサポートについて

【よくあるご質問とその回答】

www.elecom.co.jp/support

こちらから「製品Q&A」をご覧ください。

【お電話・FAXによるお問い合わせ(ナビダイヤル)】

エレコム総合インフォメーションセンター

TEL:0570-084-465 FAX:0570-050-012

【受付時間】

10:00~19:00 年中無休

各種機器との設定方法は えれさぽで検索！

Q えれさぽ

検索



本製品は日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、お問い合わせには日本語によるサポートに限定させていただきます。

A customer who purchases outside Japan should contact the local retailer in the country of purchase for enquiries. In "ELECOM CO., LTD. (Japan)", no customer support is available for enquiries about purchases or usage in/from any countries other than Japan. Also, no foreign language other than Japanese is available. Replacements will be made under stipulation of the Elecom warranty, but are not available from outside of Japan.

保証について

保証期間 6 カ月

ご購入が証明できる書類(レシート・納品書等)は廃棄せずに、保管してください。

保証規定

■保証内容

1. 弊社が定める保証期間(本製品ご購入日から起算されます。)内に、適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または交換いたします。

※保証期間を超過している場合、有償となります。

■無償保証範囲

2. 以下の場合には、保証対象外となります。

- (1) 購入証明書および故障した本製品をご提出いただけない場合。
※購入証明書は、購入日、購入店、型番が確認できるもの(レシート・納品書など)を指します。
- (2) 購入証明書に偽造・改変などが認められた場合。
- (3) 中古品として本製品をご購入された場合。(リサイクルショップでの購入、オークション購入等の中古品を含む)
- (4) 弊社および弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による改造、分解、修理により故障した場合。
- (5) 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
- (6) 通常一般家庭、一般オフィス内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
- (7) 本製品をご購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下等により故障した場合。
- (8) 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
- (9) その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合。

■修理

3. 修理のご依頼は、購入証明書を本製品に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。
4. 弊社修理センターへご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段(宅配や簡易書留など)をご利用ください。尚、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
5. 同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただく場合があります。
6. 有償、無償にかかわらず修理により交換された旧部品または旧製品等は返却いたしかねます。

■免責事項

7. 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
8. 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。

■有効範囲

9. この保証規定は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

Bluetooth®ミニキーボード
TK-FBP102シリーズ
ユーザーズマニュアル
2022年3月5日 第4版
エレコム株式会社

- 本書の著作権は、エレコム株式会社が保有しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- 本書の内容に関するご意見、ご質問がございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡願います。
- 本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品を使用したことによる他の機器の故障や不具合等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Android、Android ロゴはGoogle LLCの商標または登録商標です。
- macOS Catalina、Macintosh、iPad、iPad Pro、iTunesは、Apple Inc.の商標です。
- iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されます。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する商標であり、エレコム株式会社はこれら商標を使用する許可を受けています。
- その他本マニュアルに記載されている会社名・製品名等は、一般に各社の商標ならびに登録商標です。